

株式会社IDCフロンティア

データセンター業界のリーディングカンパニーとして知られるソフトバンク IDC。ここでは長期的なネットワーク基盤整備の一環として、Brocade Netron XMR シリーズが導入されている。10Gbps をフルワイヤーでフォワード可能な処理性能、高いポート収容力、驚異的な低消費電力等が、次世代を担うルーターとして高く評価されているのだ。2008年12月末までには顧客収容ルーターを Netron XMR シリーズへと移行予定。将来のサービスニーズを先取りしたネットワーク基盤が実現されつつある。



ETHERNET SOLUTIONS

将来を見越したネットワーク基盤整備の一環として 顧客収容ルーターに Brocade Netron XMR シリーズを 全面採用

課題

5～6年先を見越した投資の一環として、ネットワーク基盤の整備に着手。顧客収容ルーターとして Brocade Netron XMR シリーズを全面採用。

導入製品

- Brocade Netron XMR 4000
- Brocade Netron XMR 8000

ソリューション

- 顧客収容ルーターを Netron XMR シリーズへと移行することで、すべての顧客に 10Gbps のサービスを提供できる体勢が整う
- IPv6 にも対応しているため、顧客からの要望があり次第 IPv6 のサービスも提供できる
- 他社製品に比べてシャーシあたりの消費電力が約半分となり、データセンターの省エネルギー化に大きな貢献を果たす
- オートプロビジョニングによって、より迅速かつ安全にプロビジョニング業務を行えるようになる

メリット

- 最新アーキテクチャーの採用によって、10Gbps をフルワイヤーでフォワードできる性能を実現していること
- 占有スペースあたりの回線収容力が大きいこと
- シャーシあたりの驚異的な低消費電力
- 業界屈指のポート容量
- BigIron シリーズで実証されていた堅牢性の高さ

さらなる付加価値追求のため 将来を見越した投資を実施

急速な勢いで伸びているインターネット上のトラフィック。情報白書などのデータによると、この数年でデータ量は毎年 50% 増のペースで増加しているといわれている。インターネットサービスを設備面で支えているデータセンターも、トラフィック増大に対応しなければならない。その一方で IPv4 から IPv6 への移行や、省エネルギー化の推進も求められている。データセンターは今、多岐にわたる課題に直面しているのだ。

これらの課題を解決するため、ブロードの Brocade Netron XMR シリーズを採用したのが、IDC フロンティアだ。同社は日本最大級のデータセンター専門事業者であり、全国 9ヶ所のデータセンターで、ネットワークセキュリティや運用監視を含む高品質なデータセンターソリューションを提供。ソフトバンクグループのシナジーを最大限に活かし、データセンター事業におけるリーダーとして重要な役割を担い続けている。また環境問題への対応にも積極的に取り組んでおり、高集積化・空調効率の最適化・排熱の再利用等によるエネルギー有効活用も推進している。

「今回の Netron XMR シリーズの採用は、長期的な基盤整備の一環として行われたものです」というのは、IDC フロンティア 技術本部 ネットワーク部 基幹ネットワークグループ シニアマネージャーの越智 一敦氏。現在のインターネットは IPv6 への移行やトラフィック増大など大きな変わり目に来ており、これまでと同じことを同じようにやってもデータセンターとしての付加価値にはならないという。「これからはよりハイスpekな基盤を整備することで、新たな価値を提供しなければなりません。そのためには 5～6年先を見越した投資を行う必要があったのです」

IDC フロンティアが次世代のネットワーク基盤構築の検討に着手したのは 2007年11月。2008年4月には Netron XMR シリーズの採用が決定、7月から導入が始まっている。採用されたモデルは Netron XMR 4000 と Netron XMR 8000。2008年12月末までには顧客収容ルーターが、Netron XMR シリーズへと移行する予定になっている。

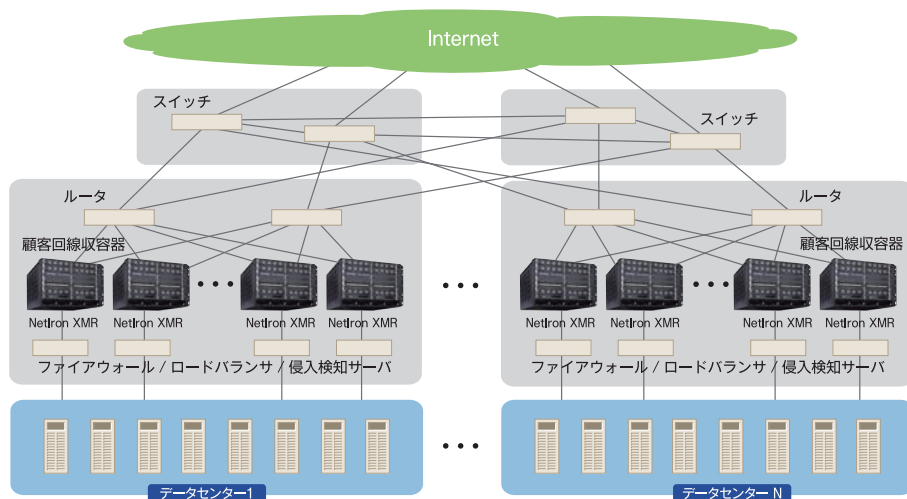


株式会社IDCフロンティア
技術本部
ネットワーク部
部長
倉本 義史 氏



株式会社IDCフロンティア
技術本部 ネットワーク
基幹ネットワークグループ
シニアマネージャー
越智 一敦 氏

ネットワーク構成図



最新アーキテクチャーの能力と
堅牢性・信頼性を高く評価

それではなぜ Netron XMR シリーズが選ばれたのか。越智氏は「アーキテクチャが最新である点が大きな魅力」だと説明。ネットワーク機器はアーキテクチャの新旧によって、性能や機能が大きく変わるとのこと。「Netron XMR シリーズはクロスアーキテクチャーによって1フルスロットあたり、100Gbps 相当のトラフィックをフォワードできる能力を持っています。現時点では10Gbps のサービスの展開が最重要課題ですが、近い将来には、より広帯域のデータ転送速度を実現しなければならない時代が来ます。ルーターを変更することなく、今後のさらなるブロードバンド時代に対応できることが、Netron XMR シリーズ採用の最大の理由です」

また占有スペースあたりの回線収容力が大きいことや、シャーシあたりの驚異的な低消費電力、業界屈指のポート容量も、大きなメリットだと説明する。「特にシャーシあたりの消費電力は真剣に比較検討しました」と越智氏。公称値の基準はベンダー毎に異なるため、同一基準で数値を合わせた上で、電気料金に換算して定量化したという。「やはりアーキテクチャーの新しいものの方が、省エネルギーの効果が大きいことがわかりました。Netron XMR シリーズの消費電力は他社製品の半分程度。弊社ではチーム・マイナス 6% に参加するなど省エネルギーに積極的に取り組んで

いますが、Netron XMR シリーズの採用は大きなインパクトをもたらすと考えています」

その一方で「ブロード製品の高信頼性の高さも重要なポイントです」と語るのは、IDC フロンティア 技術本部 ネットワーク部 部長の倉本義史氏だ。データセンターは 24 時間・365 日のサービスを提供しなければならないため、ネットワーク基盤の高信頼性確保は極めて重要な課題のひとつだ。IDC フロンティアでは 8 年前からブロードの BigIron シリーズを使用しており、他社製品に比べて故障率が極めて低い点が、高く評価されてきたという。

「実は 2008 年 4 月に米国サンタクララのブロード社を訪問したのですが、顧客および品質重視の姿勢に感銘を受けました。開発環境に用意されている測定器の数や種類も、他のベンダーに比べて圧倒的に優れています。このような企業文化があるからこそ、あれだけの堅牢性を実現できるのでしょう」(倉本氏)

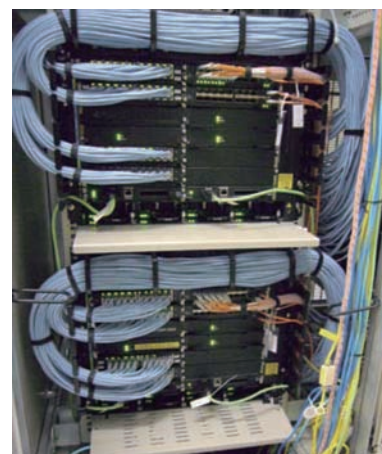
将来のサービスニーズに先手
プロビジョニング効率化も期待

IDC フロンティアでは顧客収容ルーターを Netron XMR シリーズに移行することで、すべての顧客に対して 10Gbps のサービスを提供できる体勢が整う。また Netron XMR シリーズは IPv6 に対応しているため、顧客からの要望があり次第、IPv6 のサービスも提供できるという。「すべてのお客さまが 10Gbps や IPv6 を必要とするわけではあり

ませんが、ご要望に先手を打つことは極めて重要です」と倉本氏。「このルーターなら少なくとも今後 5 年以上は使い続けられます」

オートプロビジョニングによる業務効率化にも期待が寄せられている。現在 IDC フロンティアではプロビジョニングソフトウェアの導入が進められているが、これにも Netron XMR シリーズは対応している。プロビジョニング依頼は毎日数多く発生するため、これを迅速かつ安全に行えることも、顧客満足度向上に大きな貢献を果たすのだ。

「製品そのものだけでなく、サポートについても満足しています」と越智氏。「これからぜひ長期的にご協力いただきたいと思います」



データセンター内の Netron XMR 8000。顧客回線収容ルーターとして機能している

※ 本事例の記載内容は 2008 年 8 月現在に取材されたものです。

※2009 年 4 月 1 日の社名変更に伴い、掲載社名を IDC フロンティアに修正しています。

※ 本事例を閲覧される時点において、情報が変更されている可能性がありますので、予めご了承下さい。



BROCADE

ブロード コミュニケーションズ システムズ株式会社
〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル11 階
TEL.03-6203-9100 FAX.03-6203-9101 Email:japan-info@brocade.com

BROCADEに関するより詳しい情報は、以下のWebサイトをご覧ください。
<http://www.brocadejapan.com>

©2009 Brocade Communications Systems, Inc. All Rights Reserved. 05/09 GA-CS-JP-007-2

Brocade、B ウィング・シンボル、BigIron、DCX、Fabric OS、FastIron、IronPoint、IronShield、IronView、IronWare、JetCore、NetIron、SecureIron、ServerIron、StorageX、および TurboIron は、米国またはその他の国における Brocade Communications Systems Inc. の登録商標です。DCFM、Extraordinary Networks、および SAN Health は商標です。その他のブランド、製品名、サービス名は各所有者の製品またはサービスを示す商標またはサービスマークである場合があります。

注意：本ドキュメントは情報提供のみを目的としており、Brocade が提供しているか、今後提供する機器、機器の機能、サービスに関する明示的、暗示的な保証を行うものではありません。Brocade は、本ドキュメントをいつでも予告なく変更する権利を留保します。また、本ドキュメントの使用に関しては一切責任を負いません。本ドキュメントには、現在利用することのできない機能についての説明が含まれている可能性があります。機能や製品の販売/サポート状況については、Brocade までお問い合わせください。